

昨年度採択事業「BioLabs Tokyo」令和8年7月オープン

～アジア初の直営コワーキング・ウェットラボが東京・新木場に誕生～

本事業の昨年度採択事業者である世界有数のライフサイエンス・インキュベーション企業 BioLabs Global, Inc.（本社：米国マサチューセッツ州）が、三井不動産株式会社及び一般社団法人 LINK-J と連携し、アジア初の直営コワーキング・ウェットラボ「BioLabs Tokyo」が令和8年7月、東京・新木場に開設されました。

これにより、製薬企業、アカデミア、VC 等のエコシステムプレーヤーが多く集積する日本橋エリアと、研究開発型スタートアップが集積する新木場・臨海エリアとの連携を推進し、ライフサイエンス分野における世界的クラスターの形成を促します。TIB を結節点とし、これらの拠点と連携をしたディープテック領域における東京のスタートアップ・エコシステムの強化を図ります。

■ BioLabs のグローバル実績

BioLabs は、ライフサイエンス分野に特化した世界有数のスタートアップ・インキュベーション企業です。米国・欧州を中心に 20 の直営拠点を展開し、これまでに累計 500 社以上のスタートアップを支援。米国ではアリーステージのバイオスタートアップの約 20% が BioLabs の支援を受けており、グローバル製薬企業や大学、ベンチャーキャピタルとのネットワークを活かしたスタートアップへの支援プログラムを提供しています。

■ 施設概要

拠点名称	BioLabs Tokyo
所在地	東京都江東区新木場 1-17-8 三井リンクラボ新木場 2、2 階
開設日	2026 年 7 月 1 日
施設規模	2 階の約 1,600 ㎡を整備 (本事業で整備したエリア 詳細下記)
事業者	BioLabs Global, Inc. (三井不動産株式会社、LINK-J と連携)



■ 施設の特徴・提供機能

(1) 小規模区画（1 ベンチ）から契約・利用可能な実験環境

コワーキング型のウェットラボをはじめ、オフィス・ラウンジスペースで構成。シェアラボベンチ（66 席）、個室ラボ（7 部屋）、細胞培養室、オープンデスク（43 席）、個室オフィス（9 部屋）、会

議室、コミュニケーションラウンジ等を備え、スタートアップが、その成長段階に合わせて柔軟に利用内容を選択・拡充可能。

(2) 最先端の共通実験機器を完備

HPLC、セルアナライザー、リアルタイム PCR、CO2 インキュベーター、蛍光顕微鏡、安全キャビネット、超低温冷凍庫 (-80℃) など、研究に不可欠な高度機器を共通機器として導入。スタートアップのラボ立ち上げまでの時間とコストを大幅に削減可能。

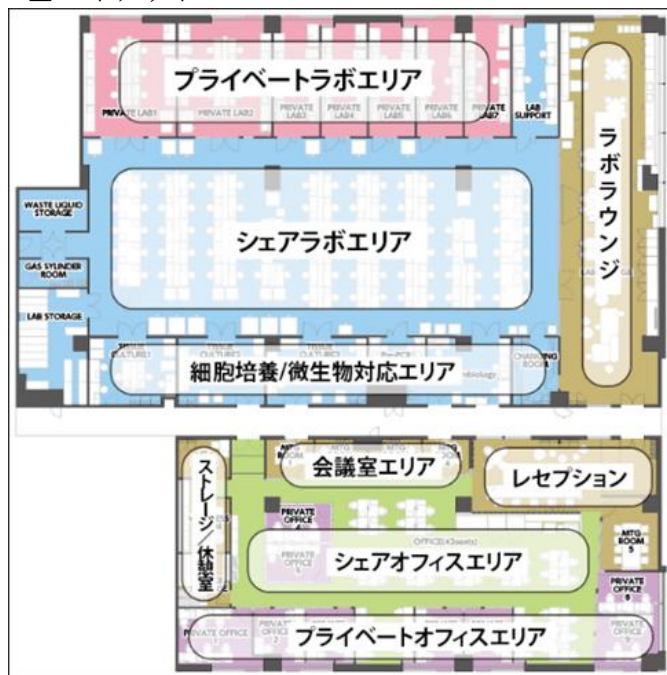
(3) グローバル水準の支援プログラムを提供

海外市場を見据えた専門家によるメンタリング、国内外の投資家・事業会社を招いた Investor Day やマッチングイベントの開催、利用者間の連携を促進するコミュニティ構築支援等、入居スタートアップを支援。

(4) フルサービス型の研究支援

起業準備サポート（法人設立、管理体制整備等）、事業運営に関する専門家紹介（会計・法務・知財等）、各種規制対応・コンプライアンス遵守への助言など、研究者が研究に専念できる環境を整備。

■レイアウト



■シェアラボイメージ

